

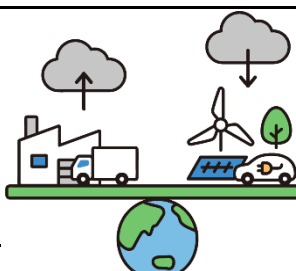
# 延岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

## 【概要版】

### 1. 計画の対象

本市における温室効果ガスの人為的発生源は次の表のとおりです。


対象となる温室効果ガスの種類	人為的発生源
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	<b>【エネルギー起源】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>施設における電気及び燃料の使用</li><li>公用車における燃料の使用</li></ul> <b>【非エネルギー起源】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>一般廃棄物に含まれる廃プラスチック類の焼却</li></ul>
メタン(CH <sub>4</sub> )	<ul style="list-style-type: none"><li>一般廃棄物の焼却</li><li>終末処理場における下水等の処理</li><li>浄化槽におけるし尿等の処理</li><li>公用車の走行</li></ul>
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	<ul style="list-style-type: none"><li>一般廃棄物の焼却</li><li>終末処理場における下水等の処理</li><li>浄化槽におけるし尿等の処理</li><li>公用車の走行</li><li>ディーゼル機関における燃料の使用</li><li>消化ガス発電に伴う副生ガス</li></ul>
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	<ul style="list-style-type: none"><li>カーエアコンの使用</li></ul>



### 2. 計画の目標

本計画における取組の着実な実施により、2013 年度を基準として、本市の事務事業により直接的及び間接的に排出される温室効果ガスの総排出量を 2030 年度までに 50%削減することを目標とします。また、2050 年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指します。

<CO<sub>2</sub>排出量削減目標>

① 令和 12(2030)年度	平成 25(2013)年度比で <b>50%削減</b>
	
② 令和 32(2050)年度	実質ゼロとし、 <b>カーボンニュートラルを達成</b>

### 3. 計画の取組内容（重点項目）と目標達成までのイメージ

個別取組	現状:2023 年度	目標:2030 年度
施設 LED 照明の導入	36 施設	100%
新築施設の ZEB 化	—	平均 ZEB Ready 相当
太陽光発電の導入(設置可能な建築物(敷地含む))	25 施設	50%以上
市役所調達エネルギーの再生可能エネルギー化	—	60%以上
公用車における電動車の導入(新規・ストック含む)	18 台	100%
↓		
温室効果ガス総排出量削減(2013 年度比)	24.6%削減	50%削減

2030 年度の目標(2013 年度比 50%削減)達成に向けて、市の事務事業において下記の重点施策を中心とし、所管課、施設等がそれぞれの役割を担い、市民や事業者にも率先して個別の取組を推進します。

#### ● LED 照明の 100%導入

2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
導入						

#### ● 新築建築物の省エネ・創エネ効率基準の向上

2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
導入						

#### ● 設置可能な建築物(敷地を含む。)の 50%以上に太陽光発電設備を設置

2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
検討・計画		導入				

#### ● 市役所で調達する電力の 60%以上を再生可能エネルギー電力とする

2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
検討	推進					

#### ● 原則 2024 年度以降の全ての公用車の電動化

2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
検討・計画		導入				